

飼っている犬が突然、目を大きく見開いたまま激しく「ブーブー」と鳴き出した！

発作なのか？ 呼吸困難なのか？ 見ている方が不安になるくらいとにかく苦しそうな音。どうしたらいいかわからず焦っているうちに、症状が収まり何事もなかったようにしている…。

このような経験をされた飼い主さんも多いのではないのでしょうか。

これは「逆くしゃみ」という犬猫特有の症状です。まるで、くしゃみを吸おうとしているように見えることから、このように呼ばれています。

一般的な「くしゃみ」は、

あ
ん
し
ん
ペ
ツ
ト
ラ
イ
フ
⑧4

「逆くしゃみ」って何？

空気が鼻孔を通して急速に押し出される現象です。一方、「逆くしゃみ」は鼻孔から空気を急激かつ連続的に吸い込む発作性の呼吸です。首を前方に伸ばして目を開き、立ったままか座った状態が多く、回数を数えることは難しいですが、数秒～1分ほどで収まります。口が閉じていることが多く、小型犬や短頭犬種でよく起こるといわれています。

「逆くしゃみ」は生理現象なので、特に治療は必要ありません。ただし、中高齢にな

ってから突然症状が現れた▷ひどくなる▷頻度が増える—などの場合には、鼻咽頭部の異物やポリープなどの可能性があるため、精密検査をお勧めします。

また、白目をむいたり、意識を失ったり、よだれが多く出たり…といった症状を併発している場合は、神経系の疾患も疑われ、やはり検査が必要です。不安なときは様子を動画に撮って獣医師に見せるといいでしょう。

(アニコム損保

獣医師 兵藤未来)